学校番号	２１０

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	音楽Ⅱ　Tutti＋（教育出版）						
副教材等	「The Basics of Music」（教育芸術社）、自主教材（ギター、音楽理論）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 「歌うこと」、「楽器を演奏すること」、「音楽を聴くこと」、「音楽の仕組みを知ること」を年間通して学習します。
- 到達度は、実技テスト、確認テスト、ワークシートで評価します。
- 音楽の学習は、何よりもまず「進んで取り組もう」という姿勢を持つことが大切です。熱心に取り組み、練習を重ねた演奏は聴く人の心を打ちます。「心に届く演奏」ができたときには演奏者の心にも深い充実感が生まれます。「音楽をする喜び」とはこの充実感を感じることに他なりません。多くの皆さんにこの充実感を感じてほしいと思います。
- 「楽譜」に苦手意識を持つ人も多いことと思いますが、文字と同じで楽譜も慣れれば誰でも読むことができるようになります。音符や楽譜の仕組みを理解し、「楽譜が読める」「楽譜を書くことができる」ようになることを目指します。

2　学習の到達目標

（知識及び技能）

・楽器および楽譜の仕組みを理解し、実践的な演奏技能を身につけ楽譜を読み取り演奏ができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】

・音楽的な感性を高めるとともに、合唱、器楽アンサンブルなどを通して互いの存在を意識しながら、演奏していく能力を身につけ、音楽表現の楽しさを感じる。

【学びに向かう力、人間性等】

・音楽活動を通して音楽を愛好する心情を育むとともに、古今の名曲に触れる機会を持ち音楽文化についての関心を高め、自主的に学び続けることができる態度や、音楽を通して物事を見つめ考え解決する力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音符の種類や長さ、拍子の概念などを理解するとともに、タブラチュア譜（タブ譜 ）の読み方を習得する。 ギターの基本的な運指についての知識を習得した後、発展的な技能習得を目指す。 歌唱における姿勢や発声の際の身体の使い方を身につけ、他者の表現を聴きながら歌唱することを目指す。 鑑賞においては楽曲の作曲者についてや歴史的背景について理解する。	創意工夫を生かした音楽表現をするためには、知識として学んだどの技術を使えばよいかを自分自身で判断して練習に取り組むことができるようになる。 音楽を形作っている要素を理解し、その曲を最も美しく表現するためにはどうしたらよいかを意図して演奏することができる。	ジャンルにかかわらず、授業で扱う曲に興味関心をもって取り組む姿勢を身につける。 技術の向上が表現の充実につながることを理解し、技術の習得に積極的に取り組む姿勢を育てる。 鑑賞においては、落ち着いた態度で楽曲を聴くことができ、感じた気持ちを他者へ伝えることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	ギターを弾く①	【器楽】 ・一年次の復習 ・ト長調の 2 オクターブ ・ギター二重奏 「きらきら星」 「シューベルトの子守歌」	a:ギター演奏に必要な基礎的な知識（運指、タブ譜の読み方）が身についている。調弦の方法を理解し音の違いに気付くことができているか。 b:二重奏をするに当たって、自分のパートを責任を持って弾きつつ、相手の音を聞き、合わせて表現することできているか。 c:積極的に練習に取り組み、反復練習を行えているか。	実技テスト 観察	実技テスト	観察
	音階	【楽典】 ・ト長調の 2 オクターブについて ・長調　短調について ・強弱記号、反復記号について	a:音階の概念について理解することができる。調の違いを理解して長短を判別できているか。 b:a で身につけた知識を五線譜上で表すことができているか。 c:練習問題に積極的に取り組めているか。	ワークシート 確認テスト	ワークシート	ワークシート 観察 確認テスト
	歌唱	【発声　応用】 「いつも何度でも」 「島唄」 (二部合唱)	a:さらに高い音域、低い音域がでるために必要な呼吸、姿勢について学ぶことができているか。 b:学んだ技術を歌唱にうまく使えているか。互いのパートを意識して表現しているか。 c:積極的に歌えているか。	実技テスト 観察	実技テスト	観察
二学期	ギターを弾く②	【器楽】 ・C. G. D. Emのコードを弾く ・ギター二重奏 「冬から」 「第三の男」	a:ギターコードの構造を理解し指定されたコードの弾き方をマスターしているか。 b:二重奏をするに当たって、自分のパートを責任を持って弾きつつ、相手の音を聞き、合わせるというアンサンブルができているか。 c:積極的に練習に取り組んでいるか。	ワークシート 実技テスト	実技テスト	ワークシート 観察

	日本の伝統音楽	【鑑賞】 雅楽「越天楽」 箏曲「六段の調べ」	a：邦楽の歴史、特徴を理解し、その歴史的背景に関心を持ったうえで、内容について理解できているか。 b：音楽を形作っている要素を知覚し、西洋音楽との違いを感受しながら、伝統音楽に対する理解を深め、その良さや美しさを味わって聴いているか。 c：我が国の伝統音楽に関心を持ち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしているか。	ワークシート 確認テスト	ワークシート	ワークシート 観察 確認テスト
	歌唱	【歌曲の世界】 SantaLucia（原語） Ich liebe dich（原語） 落葉松	a：イタリア語、ドイツ語、日本語それぞれの曲にふさわしい発音、声の出し方で歌うことができているか。 b:強弱、リズム、メロディの持つ特徴をつかみ、歌詞の内容を理解してどのように表現するか考えてながら歌っているか。 c：歌詞の内容・曲想の関わりに関心を持ち、それらを生かして歌うことに主体的に取り組んでいるか。	実技テスト 観察	実技テスト	観察
三学期	ギターを弾く③	【コードによる弾き歌い】 ・9コード（Fも含む）の演奏しながら歌う ・ギター弾き歌い 「糸」 「チェリー」 「翼をください」	a:F（簡易型）のコードの押さえ方が取得できており、さらにコード・チェンジがスムーズに出来ているか。 b:「糸」という曲にふさわしいテンポ設定ができ、メロディ・ラインを正しく歌い、コード演奏に合わせることができているか。 c:練習に自発的に取り組めているか。	実技テスト 観察	実技テスト	ワークシート 観察
	歌唱	【日本の四季】 「四季の歌」 ・朧月夜 ・小さい秋見つけた ・冬景色	a:日本の歌の発声、特徴に興味を持ち、それらを生かして歌えているか。 b:歌詞の意味を考えながら、表現できているか。 c:自発的に練習に取り組めているか。	実技テスト 観察	実技テスト	観察
	器楽	【和楽器の響き】 ・各部の名称、楽器の由来 ・平調子 ・箏曲 「さくらさくら」	a：音色に関心を持ち、基礎的な奏法を理解して演奏できているか。 b：平調子が醸し出す楽曲の雰囲気を感じ取りながら演奏できているか c：箏について関心を持ち、各部名称を覚え、箏の歴史について自発的に学ぼうとしているか	ワークシート 実技テスト	実技テスト	ワークシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度